

平成31年4月15日

農業技術センター 技術普及部

標 題	「特A」生産を一層後押し！ 「つや姫」栽培の手引きが完成
-----	------------------------------

(ダイジェスト)

「つや姫」栽培のよりどころとなる手引きが完成しました。  
「米の食味ランキング」において4度目の「特A」を取得した「つや姫」生産に向け一層の後押しが期待できます。

本県の水稲奨励品種「つや姫」は、平坦部を中心に作付面積が拡大する中、高い1等米比率を維持し、高温登熟条件下での品質低下が目立つ「コシヒカリ」と比べ優位性を発揮しています。

その栽培技術にあたっては、これまで「つや姫」栽培の手引き（以下、「手引き」という。）により、登録生産者に対して関係機関が連携して指導してきました。

この手引きは、平成25年に当センターが作成し、その後の試験研究結果や、本県が各地域に育成した先導的農家である「マイスター」のほ場での実証結果を基に毎年度改訂してきました。この期間、試験研究や実証ほでは、本県が西日本トップの普及率に躍り出た「1.9mm選別ふるい目（従来は1.85mm）」に対応した栽培技術の確立に取り組みましたが、この度これらの成果をまとめた完成版の発行に至りました。

手引きの特徴となる栽培の考え方は以下のとおりです。

- ・生育期間全般での病虫害等への適切な対応による稲体の健全化、生育初中期での過剰生育の抑制、また登熟期間での稲体の活力維持に努め登熟を向上
- ・具体的には、生育モデル（生育指標、収量構成要素）を目標に、土壤実態に応じた土づくりや施肥管理のもと、生育状況や気象条件に応じた水管理等基本技術を着実に実践

また、今回は生育指標として高温登熟に耐えうる葉色や茎数の目安を変更し、さらに5月末移植や深水栽培等基本技術を補完する栽培方法を加えました。

「つや姫」は、平成30年産米が「米の食味ランキング（日本穀物検定協会）」において4度目の「特A（最高位）」を取得しました。また、「マイスター」については、これまでの育成段階から今後は各地域において一層活躍いただく取り組みに移行します。

こうした場面において、この手引きが活用され、「特A」を取得した「つや姫」の高品質で安定的な生産へ寄与することが期待できます。

